

1年のうちである1日だけ新聞を購入するとしたら、いつの新聞を求めますか。どんな大きな出来事が起こるか分からないなかでは、私は迷うことなく元日の新聞を選びます。普段でも土曜日は別刷りの2種類の「be」が付くので、他の曜日と異なりますが、1月1日は超特別な新聞です。

この日の新聞には、この1年を占うような記事や大特集があります。社説も今年を期待する、こんな年になってほしいという内容が多いです。出来るだけ多くの新聞を購入するとよいでしょう。特に普段目にする機会の少ない地方紙はお勧めです。

今年の元日の朝日新聞をみてみましょう。第1部から第5部に分かれていて合計80ページにもなります。第1部は普段の新聞と同じ40ページ、同じような紙面構成です。第2部は「テレビ・ラジオ」、第3部「スポーツ」、第4部「科学」、第5部「3D」でした。

第1部のトップ記事は『教育 あしたへ』という連載・特別記事の第1回目でした。各社とも第1部のトップを何にするか苦心していますが、特集的なニュース記事にするか、企画記事にするか、大きく二つに分かれます。また、どの新聞も「テレビ・ラジオ」を別刷りにしています。それ以外の別刷りは各社独自のテーマになっています。

元旦のトップ記事、別刷りのテーマが何なのかを予測するは大きな楽しみです。オリンピック、経済、復興、安全、アフリカなどがキーワードだと私は思いますが…。

今年も残りわずかになりました。よい年をお迎えください。

→

全国新聞教育研究協議会・顧問 鈴木伸男